伊藤圃蔵

植物図説雑纂

（八）自一至十五

十四

伊藤圃蔵記

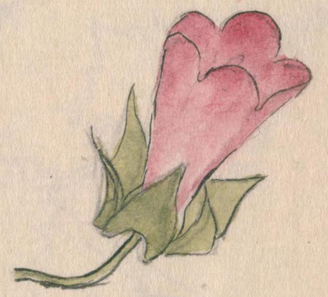
別6
9
21

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9

ガラス使用

帝国図書館蔵書

伊藤圭介翁記念



伊藤さやう氏 寄贈本

帝国図書館蔵書

禁忌門外

（スイタ）

物ノハマナデシコハ サツマナデシコ ノキナデシコ
コカ或ハ ハマナデシコ ハマザクラノコカ

本郷區眞砂町十四番地
伊藤圭介

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9

ガラス使用

DR. TOKUTARO ITO. 28/V/1913

理學博士伊藤篤太郎

Maurandia erubescens

キリカヅラ(植物名彙, 2版. Benth. et Hook. f. p 1183, n. 1999).

伊篤按: Maurandia scandens Gray (Lophospermum scandens D. Don) ニハ非ズ M. erubescens ニ花足ノ製ヒ図クシテ先端尖テガニ非ラ M. scandens ニ異リ

尾張伊藤蕃太郎記

是ハ雛ノ花ヲ啄シメルモノ図ス五右ニテ内ニ左ハ摸セリ二共ハ著シク又花冠ノ如ク細長イモノ一条ハ蒴ニテ柱頭ノ如キモノ又一条ハ蒴ニテ柱頭テレ

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9

ガラス使用

DR. TOKUTARO ITO. 28/V/1913

理學博士伊藤篤太郎

Mauraudia erubescens

キリカヅラ(植物名彙, 2版. Benth. et Hook. f. p 1183, n. 1999).

伊篤按: Mauraudia scandens Gray (Lophospermum scandens D. Don) ニハ非ズ M. erubescens ニ花冠ノ製ト円クシテ先端尖テガニ似ラ M. scandens ニ異リ

尾張伊藤蕃太郎記

是ハ雌ノ花ヲ啄シメルモノ図ス五右ニテ内ニ左ハ植セリ二共ハ著シク又花冠ノ如ク細長ノモノ一条出テ共ノ柱頭ノ如キモノナク又一条出テ柱頭テ

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9

ガラス使用

ロボスペルミウム　艸中屢ミル　汎ク生ス
葉名集二モレ載サ

Lophospermum
erubescens
Commelinaceæ
三参考ス *Cucurbitaceæ*

文久納ル處ノ種子ノ
一ナリ　蔓草ニシテ　長ク蔓ル処ノ

莖円ニシテ莖葉共ニ毛
帯ノ色ノ帯ガ
茸アリ　葉互生シ
形心様ニシテ端尖リ
粗キ鋸歯アリ　形拓樓葉ニモ稍ニタリ

十四ノ四

Lophospermum
erubescens
Commelinaceæ
三参考ス *Cucurbitaceæ*

文久納ル處ノ種子ノ
一ナリ　蔓草ニシテ　長ク蔓ル処ノ

莖円ニシテ莖葉共ニ毛
帯ノ色ノ帯ガ
茸アリ　葉互生シ
形心様ニシテ端尖リ
粗キ鋸歯アリ　形拓樓葉ニモ稍ニタリ

十四ノ四

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』 請求記号 本別6-9
ガラス使用

文久癸酉ノ種子ノ
一ナリ 蔓草ニシテ 長ク蔓ヲ延ス

茎円ニシテ茎葉共ニ毛
茸アリ 葉互生シ 紫色ノ帯ノ
形心様ニシテ端尖リ
粗ク鋸歯アリ 形拓摸葉ニ稍異タリ

130 羅 Cyclanthera pedata

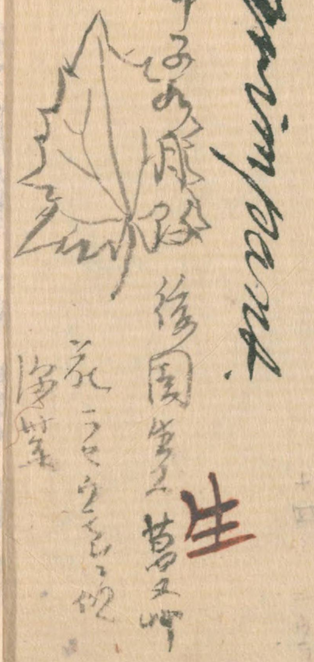
(生) 日向産 Cyclanthera pedata 仮

Cyclanthera pedata Schrad. 和名ゴホウヅル

文久酉年 Cucumis pedatus Retz. 支那ノ産

130 Cyclanthera pedata Schrad.

ロホフペダタ 甲子ノ種子 後園第二葛生



国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』 請求記号 本別6-9

ガラス使用

ハナメウガ

花
葉 唇ニ在ニテ形ラセウモンカヅラニモ似ル稍小ナリ深紫
色 四方ニ長ニ寸一ト株若ケレハ莖五六幹ニテ蔓夫リテ四方ヘ向ケリ

△五出上唇三生下唇三出ル唇ニ毛
附ノ一幅黄ノ上ニ赤ノ点細毛阪ツオ元
出ル処ノ外ニ条アリ形状
開ク二三日ヲ経ツ汁ナシ
明 月ニ咲ク

ハナメウガ

芒種前後

花葉ハ唇ニテ形ラセウモンカヅラニモ似テ少シ稍小ナリ深紫色四方ニ長二寸一ト許ナリ蕚五瓣ニテ蝙蝠ノ如シ

△五出上唇三出下唇三出ノ間ニ各一瓣ヅツ上ニ出ツ下唇ノ内側ニ黄色ノ細毛アリ

ツオ花

出ヅルノ如ニ条アリ形状細

閏十二三日ヲ候ツ汁ヲ採ル

月ニ咲ク

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』 請求記号 本別6-9

ガラス使用

藥舖 伊豆縮砂ノ哼ノ

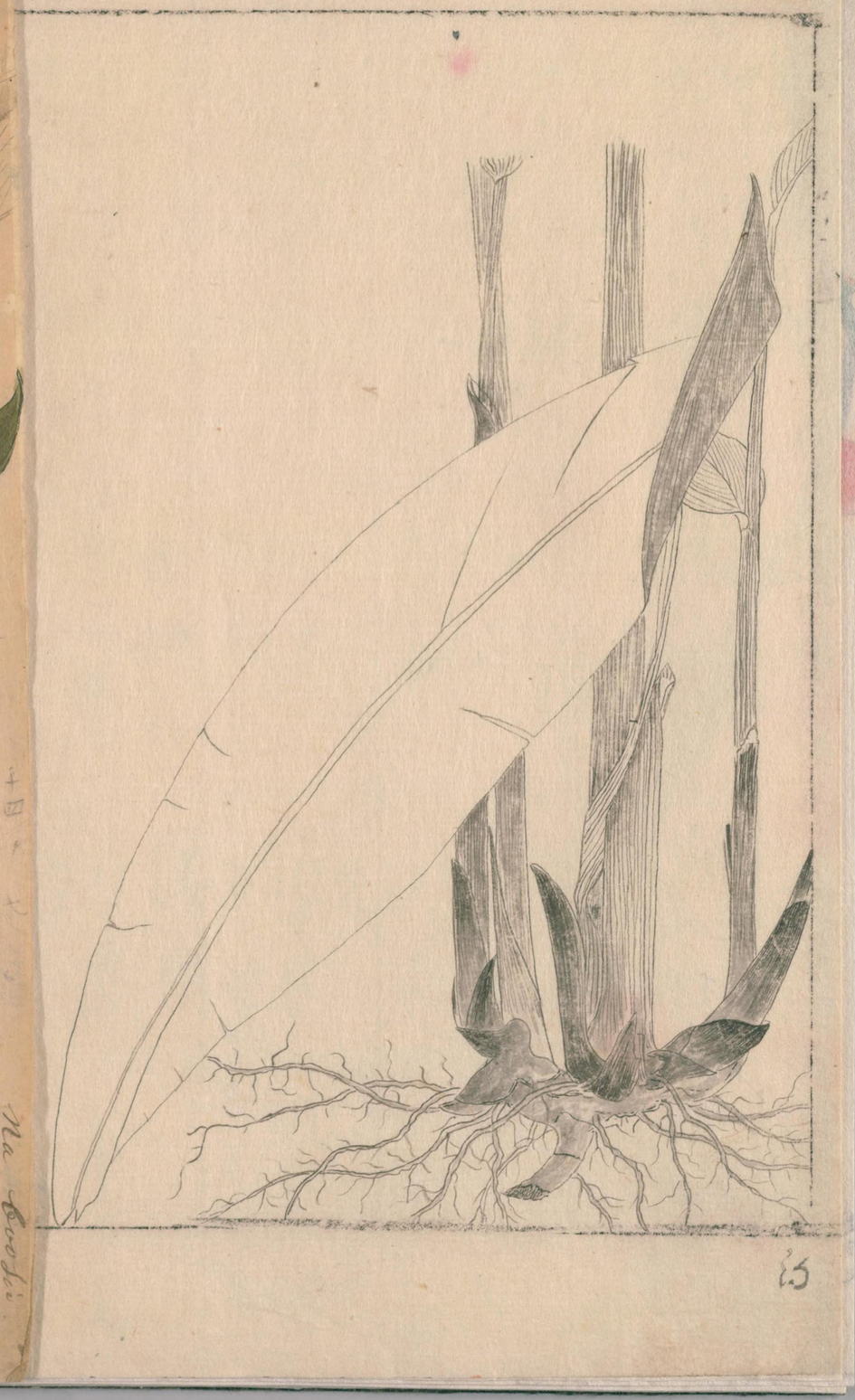
国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』 請求記号 本別6-9

ガラス使用

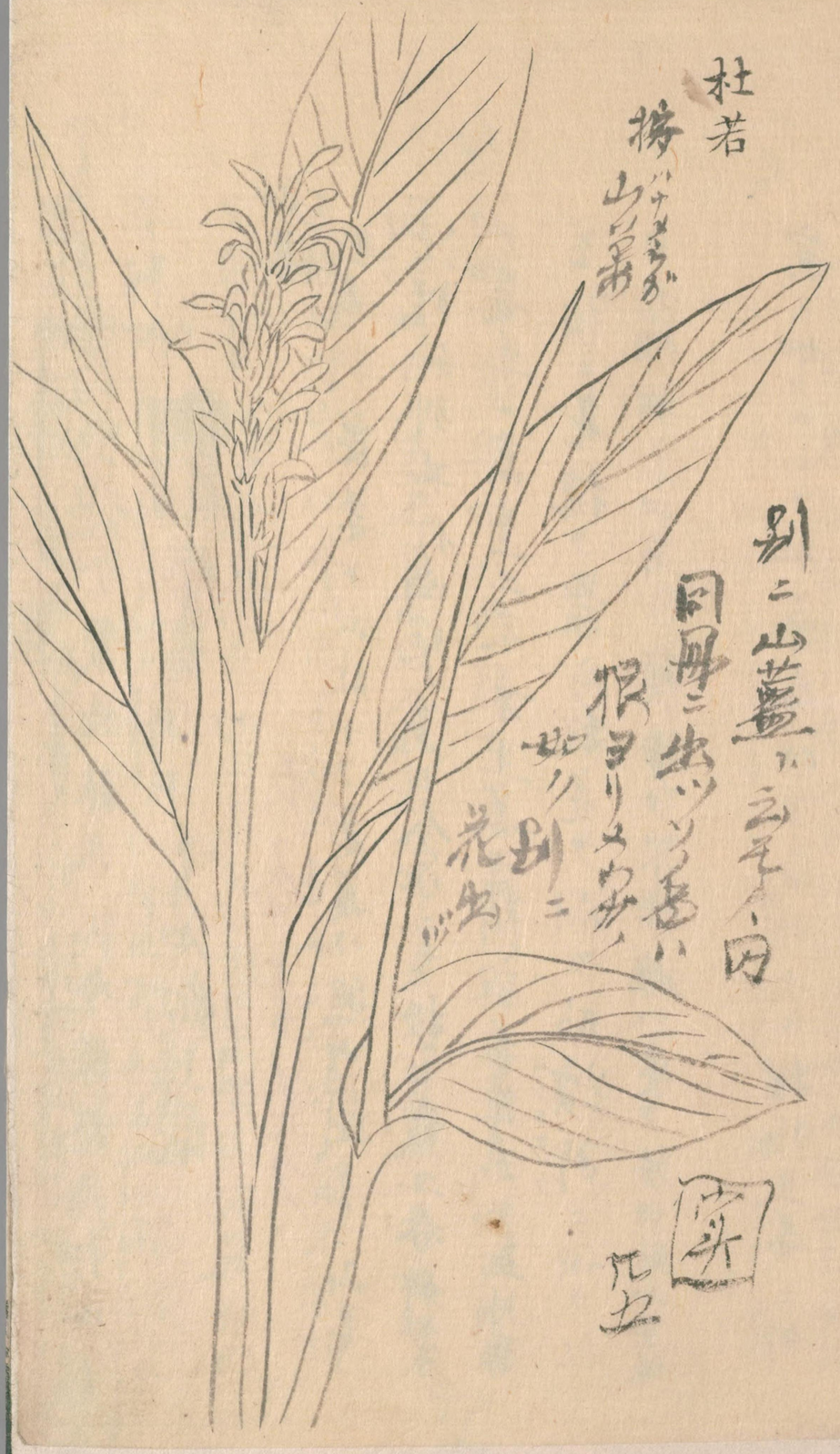
国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9

ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』 請求記号 本別6-9

ガラス使用



杜若

別二山薑ノ云ヒ

同毋二出ツ葉ハ

根ヨリ

花ハ

杜若本経上品按芳洲杜若九歌畳詠而醫書以為
少有識者考郭璞有贈江淹有頌沈約有詩
豈皆未覩其物而空託糸擲耶韓保昇云苗似山薑花黄子
赤大如棘子中似豆蔻細審其説乃即滇中豆蔻耳蘇恭以為
似高良薑全少辛味陶云似當根者即眞杜若李時珍以
為杜疋山中時有之山人亦呼為良薑甄權所云獐子薑圖経
所云山薑皆是物也沈存中以為即高良薑以生高良而名余於
廣信山中採得之俗名連環薑以其根瘦細有節故名有土醫
即良薑也根少味不入藥用其花出鞘中黄紫下垂色

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9
ガラス使用

高良薑今案ニ於保久礼今俗誤テ為ニ伊豆縮ト汝

異名 蘘荷（ミョウガ）

山姜　ハナメウガ

金澤ニテ良姜ト云非ナリ良姜ハ熊竹蘭ナリ山姜
江州和州其他南地ニ多シ人家ニモ移シ栽ス春新茎
ヲ叢生シ高サ一二尺葉生姜ニ類シテ毛茸アリ五月舊
莖梢ニ花穗ヲ發シ數花ヲ開ク形纈（ヨトリツソウ）斷ニ似テ紅
白色雌雄ノ品有テ雄ハ實ヲ不結雌ハ實ヲ結ブ形山豆根
實ノ如クニシテ紅藥店伊豆宿砂ト云根形生姜ニ似
テ莖根香氣アリ根ヲ良姜ニ僞ル可撰

紅豆蔻　是高良薑ノ實也與縮砂（ハルカニ）別也近世已ニ其非
ヲ知ル而レ共今華來ノ少ナキ猶尚之ヲ代ヘ用ユ本州山南
所々良薑アレ共今惟横川村僅ニ之ヲ出ス他州ヨリ出ル
モ亦皆稱ノ伊豆縮砂ト云

（四）

紅嬌可愛與前人所謂豆蔻花同與良薑花微異殆即
圖經所云山薑也余取以入杜若以笋大者為良薑小者為杜若
之說但深山中似此者尚不知幾許姑以備考云爾若劉斯
父采杜若詩素莖綠葉紛可喜又云餐花嚼蕊有眞樂則
亦韓保昇所云花黄一種草豆蔻花帶紅白二色非同良
薑花紅紫灼灼也至秋花之書有以鷄冠蕾之者可謂刻

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9
ガラス使用

畫無鹽唐突西施

雲巢農曰昔人戲爲杜仲作杜處士傳若杜若者顯於古而
晦於今其今之逸民歟音以明自煎蘭以香自燕杜若非
○按山薑江西湖南山中多有之根如薑葉大於薑而有
紋理稍柔秋時就根發花與薑花同他處薑皆未見聞
時有抽苗開花者余親採之花老結子如豆莢殼紅如血氣極薰烈、
李時珍所謂

良薑

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9

ガラス使用

十四ノ十

晦於今其今之逸民與高以明

○ 按山薑江西湖南山中多有之根如薑葉大於薑而有
紋理稍柔秋時就根發花與薑花同 他處薑皆未見聞
時有抽苗開花者余 花南安種薑成畦
親採之

李時珍所謂

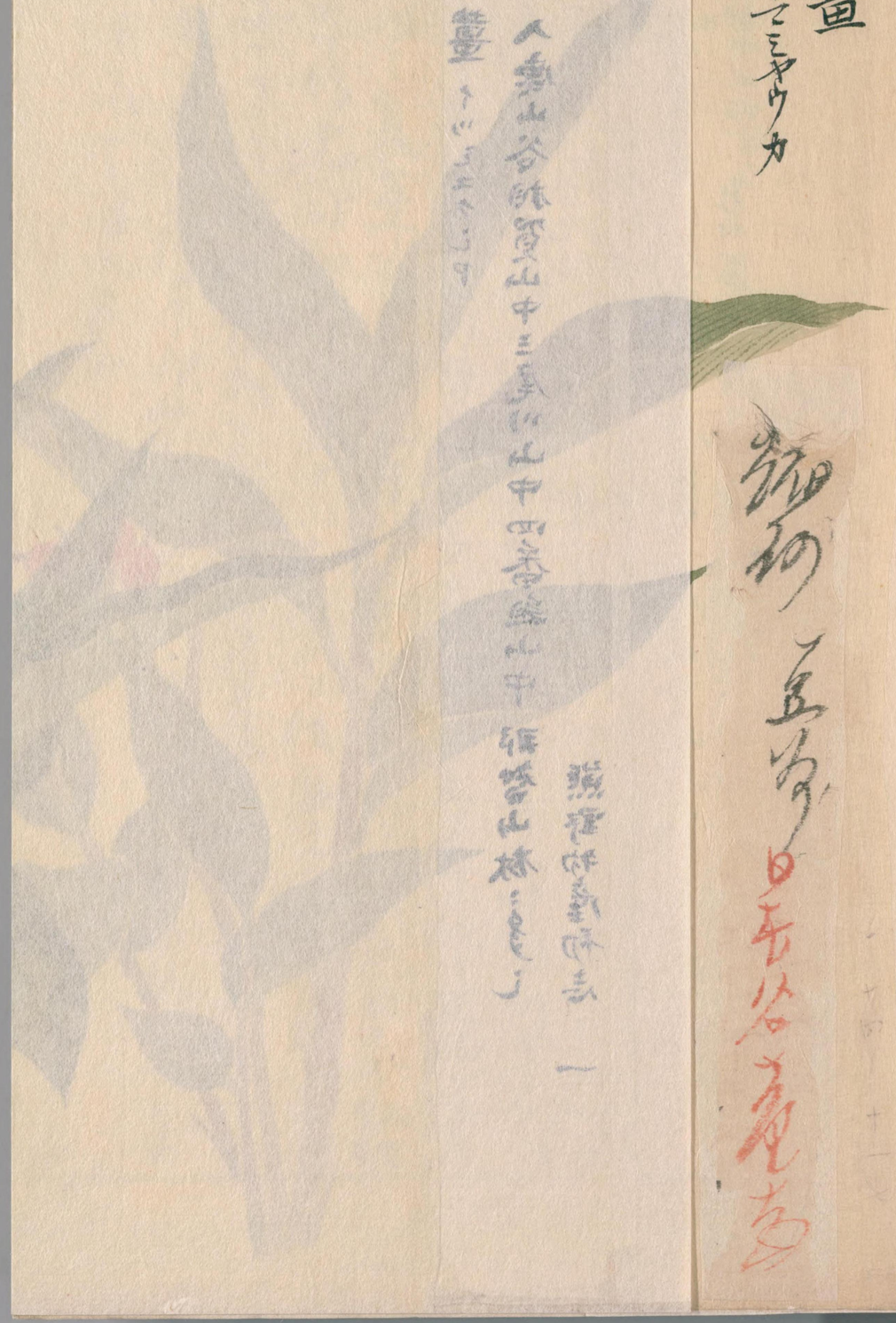
良薑 レウケウ

花名在

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9
ガラス使用

一 杜若

山薑
ヤマミヤウガ



山薑 イツシュクシヤ

入鹿山谷相賀山中三尾川山中四番組山中 那智山麻ニ多シ

熊野物産初志 一

山薑

ヤマシヤウカ

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9

ガラス使用

テ佐賀ニモ之ニ非ス和州三井寺山中勢州岩戸山
ニモリ又紀州豆州等ニモ多ク産ス其形葛葉ニ似テ互生ス春
多ク夏葉ノ間ヨリ一尺許梢ニ穂ヲ成シ花ヲ開ク色白ニテ紅斑
アリ形蓮蘭花ノ如ニメ至テ小ナリ実ヲ結ブニ及ヒ色赤ク碓ニ栗
子アリコレヲ伊勢俗ニ称シテ偽リ貨ル子ノ形ノ縮砂ニ似テ丸ク小ナリ
黒テ白デノ二種アリ即山蕎実ヨリ此根細長ニメ淡茶褐色味苦メ
臭気アリ渾テ食蕎ノ気薬ニ非ス市人良蕎ト呼者ニ非ス

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9
ガラス使用

ハナメウガ　牡者モ園ニヨリテハナメウガト云

ヤマメウガ　飛騨

ハナヤリヤウキヤウ

アカメウガ

Clintonia Japonica, Miq. 15-T20

山萱

科名　美草

漢渡ナシ花戸ニ此ヤ良姜ト呼ビ茎鋪ニコノ根ヲ良姜ニ代貨ンモノ並ニ非ラリ和州三輪深州ノ山ニヨリ又紀州豆州勢州ニ多産ス形萱葉ニ似テ互生ス春夏茎ノ高サ一尺許穂ヲ成ス花ヲ開ク色白ニテ紅斑アリ形蓮蘭花ノ如ニメ至テ小ナリ実ヲ結ブニ色赤ク碓ニ中ニ子アリコレヲ伊勢俗ニ熟ミト称ニテ偽リ作黒テ白デノ二種アリ即山萱実ナリ此根細長ニメ淡茶褐色味苦ク臭気アリ渾テ良姜ノ気味ニ非ス人良姜ト呼者ハ非ラ

山薑

杜若　此ニ薮名荷ト云ハ花茗荷ト云ヲ誤ル杜若ハ薮茗荷ト訓ズレド花白キ物ニ此ニ云ト八異ニ花茗荷ハ白ノ赤キ班アリ江尻三井寺ニアリ京ニ稽生ナシ伊豆縮沙ハ山姜実ニ縮沙ノ代リニハ成ラズ○別ニ薮茗荷又山茗荷ト云ガ杜若ノ変シ

ハナノウガ　一名カラスノゼムシキ　筑後北野

山薑

ハナメウガ　杜若モ国ニ因リテハナメウガト云フ

ハナヤリヤウキヤウ

漢渡ナシ花ヲ此ニ薑ニ良薑ト名ヲ賃ルモノハ姜ニ非ナリ和物三輪江物ノ如シ

三井寺山中ニ有リ又紀州多シ夏莖高サ一尺許ニ薑葉ニ似テ互生シ毛茸多シ穂ヲ成メ花ヲ開ク色白クシテ紅斑アリ形建蘭花ノ如シメ至テホナリ実ヲ結フ熟スレバ色赤ク形圓長五分許破レバ中ニ子アリコレシ伊豆縮砂ト称シテ偽

品字社叢書

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9　　ガラス使用

山薑

ハナメウガ　ヤマウナ類ニテ根ヲ良薑ト呼ビ葉ハ山野ニ多ク生ズ夏秋ノ間花ヲ穂ニナシテ開ク色白ク紅斑アリ形蘭花ノ如シ実ヲ結ブ熟スレバ赤色ニシテ伊豆縮砂ト称シテ偽品ニ充ツ

イワ山姜

大小アリ

七ツ谷

杜若　此ニ載ル名荷ト云ハ花茗荷ノ子ニ似テ漢名山姜ト杜若ハ藪茗荷ト訓ズレド花白キ物ニシテ此ニ云ト八異ニ花茗荷ハ白ノ赤キ斑アリ江戸三井寺ニアリ京ニ稽生ナシ伊豆縮砂ハ山姜実ニ縮砂ノ代リニハ成ラズ○別ニ藪茗荷又山茗荷ト云ガ杜若ノ変ニシテ

ハナノウガ　一名カラスノゼムヌキ　筑後北野

山薑

ハナメウガ　杜若モ国ニ因リテハナメウガト云フ

ハナヤリヤウキヤウ

漢渡ナシ花ヲ山薑ト云ヒ根ヲ良薑ト名テ賈ルモノハ並ニ非ナリ和州三輪江州三井寺山中ニ有リ又紀州熊野ノ山中ニ多シ夏茎高サ一尺許梢ニ薑葉ニ似テ互生シ毛茸多シ穂ヲ成メ花ヲ開ク色白ク紅斑アリ形蓮蘭花ノ如シ実ヲ結フ熟スレバ色赤ク形圓長五分許破レバ中ニ子アリコレシ伊豆縮砂ト称シテ偽

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9
ガラス使用

良姜　俗名蓑荷又蓑荷草ア
リ藪蓑荷ヒ云花草ニ記ス是ト異リ良姜叢生シ
テ高一二尺葉蓑荷ニ似テ赤莖冬ヲ経テ不ル凋三
月葉間ヨリ穂ヲ抽テ淡紅花ヲ開キ立浪草ノ花
ニ似テ稍大ニメ攅密ナリ花謝シテ実ヲ結フ生
ハ青ク熟ハ赤色大サ指尖ノ如クニシテ少長ク
中ニ細子有テ恰モ縮砂ノ如シ葉根香気烈シ茶
店ニ伊豆縮砂ト称ル者ナリ唐医縮砂ニ代用ル
ハ誤ナリ蓑姜ノ子ハ紅豆蔻ナリ按スルニ恕菴
子杜若ト蓑姜ヲ以テ一物トス其説意味アリ然
ヒ品物多端不」可」窃見

山姜　寓曰
ハナミョウガ　杜若
ちうがさ　夢
ごニ豆加志　紅豆蔻　昙高良薑ノ実也與縮砂異ニ別也世
已ニ其非ヲ知ル然ヒ今華来ノ少キ猶尚之ヲ代用ス本邦山南処々
良薑アリ今惟横川村僅ニ之ヲ出ス他ニ多ク出ル者ハ仔
山薑花
豆縮ノトヲ云
山薑花　葦葉　即薑也　根　不耕
作穂　如ニ麥粒一　軟紅色　煎ニ服之一　治冷氣甚効出ニ
南方艸木状全
九眞　交趾ニ

ヤマメウガ

別名ヤマメガ山姜一名雌ノ子花後実アリ茎ノ此室ヨリ伊豆館砂ト云ヒ直物ニ非ズ実ナキモノハ根ノ力ナリ（註按此後疑ニ山姜ハ両全花ニシテ実アリ）

圭按天保十五辰五月曽吉野ニテ白花ノ山姜ヲ得タリ

麦門冬真名抄 巻

リ質ハ子ノ形糸砂ニ似タルニテナリ此根細長ニメ

浅茶褐色味苦臭気アリ渾テ良薑ノ気味ニ非ス市人良薑ト呼者ハ非ナリ

ヤブラン 京都真如堂ヨリシガ谷ニ又ノミヤマ多シ

ヤブラン ヤマラヒトモ云ヘリ

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9

ガラス使用

ハナゴケ

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』 請求記号 本別6-9

ガラス使用

二五十六

Lichen tangiferinus

リヤン

ハナゴケ

石蕊

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9

ガラス使用

ハナゴケ　　シラゴケ

○蔵府考他之茶物ニ蒙山之茶ト
非山名也秘府神隔之
本綱目所載ハ
石蕊
石蕊花　本草彙言
石雲茶　日上
蒙茶　廣東新語

釈名　石濡　別錄　石苔　日上
蒙頂茶
時珍曰其狀似石蕊其味如茶故名石茶即茶字之誤
雲茶　圃目

ハナゴケ　十四ノ十八

山中ニ石上ニ生ス高サ二三寸叢生シ白色形花蕊ノ如シ圓細ニ
シテ枝又ヲ分ツ内空シ採リ乾テ茶トナシ飲ムベシ

三

石蕊　今案伊和古計　石濡　別錄　石苔　同

○石花　トサカゴケ　深山ニアリ石蕊ノ類ナルベシ

ハナゴケ　朱ノ亜種　石蕊ノ異名

ハナゴケ　所々ニアリ　熊野物産初志　一

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9
ガラス使用

樹衣

和名 キノリ

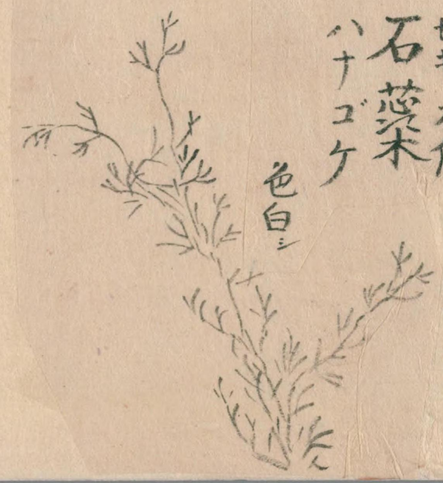
食物本草樹衣生樹上ニ如苔霏雪録金華山中多樹衣
僧家以爲蔬味極美
越後ニ産ス形石蕊（ハナコケ）ニ似テ色白シ深雪ノ頃大木ノ上ニ在
ヲ土人採食フ淡白ニシテ雅味アリ北樹衣ナリ又加賀
白山ニコホルタケト呼モノアリ石蕊ニ似テ潔白ニシテ至細ノ
枝多ク分レテ網ノ如シ此又食フベシ樹衣ノ一種ナリ

十四ノ十

○石蓝 陳氏曰石蓝生太山石上如苔別録方雖載只言功
用不言形状此生高山石上今人謂之蒙頂茶多生嶺
蒙山石上乃山霧日影重蒸日久結成早春青翠鋪岡
藥如手掌蓋苔衣類也春中刮取曝乾謂之碧芝名
雲茶其状白色軽薄如花葉其気香如葦其味甘
滴如茗不可煮飲止宜咀嚼及泛湯呪清涼有味
李時珍曰

氷コケ　白山方言　コホシコケ

曽吉云　茎ハ一寸
長ク地ノ上ヲ匍ヒ
茎ハコワシ
ヤリ状ノ葉ヲ互生ス
冬ハ之ヲ吸物ニモ
ス
出来田ノ名ニモアリ



十四の二〇

ハ三　ハナゴケノ類　北越物産写生

此苔趣味奥沼郡田沢村ノ内桔梗原ノ陽地ニ生ス茎高六七分許リ細枝ヲ叢生ス冬雪ヲ凌テ其色白緑色堅キ事針ノ如シ苔ノ一種也何ヲ不知掘レニハナゴケ又云ふうごケトモイフリ本草彙言ニ石薬花ノ名アリ山中土石上ニ生ス叢生メ高サ二三寸ニ至レ白毛サルモノアリ花蓝ノ如シ故石葱（本綱）ト云茎円細ニメ枝又ヲ分ツ折レハ中空ナリ廣東新語ニ蒙茸ト云株研テ薬ニ代テ飲ムコヲ云ヘリ

ハナゴケノ一種
黒色ニシテ枝多シサヒホソシ
濃州第山產

十四ノ二一

約

石蕊　ハナゴケ　滇行紀程曰梨平ニ思南有金星石甚佳陽
山茶絶類蚕蘿雲南通志曰太華茶出太華山邑味俱似松蘿
而性較寒　九南今未有

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9
ガラス使用

ハナゴケノ一種

黒色ニシテ枝多シサキホソシ

濃州華山産

十四ノ二一

石蕊　ハナゴケ　滇行紀程曰梨平ニ云フ思南有金星石甚佳陽山茶絶類娑羅雲南通志曰太華茶出太華山色味俱似松蘿而性較寒

十四ノ二一

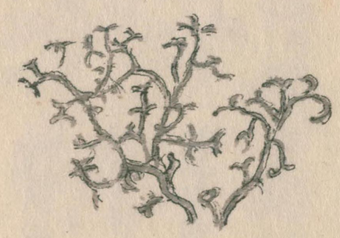
国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9

ガラス使用

ムラサキゴケ

北海道 擇捉島振別産

テウビゴク
テウビカシラ
カノコゴケ

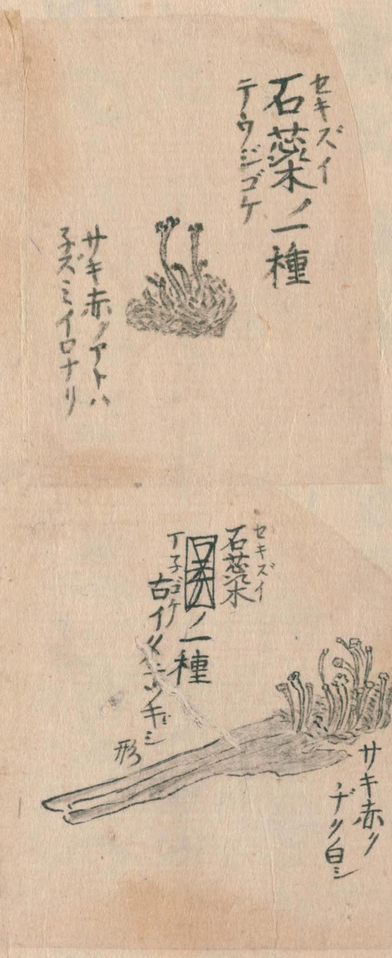


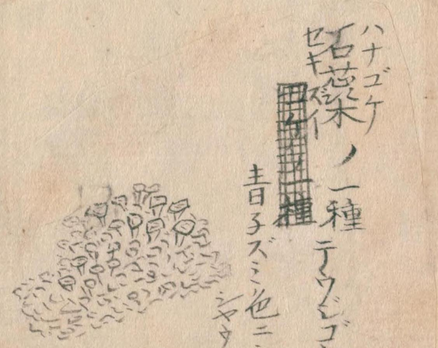
国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9

ガラス使用

苔類

雲苔　白山頂上ニ多シ味甘形扶製シタル鹿角菜ニ似テ幅
潤小枝左右ニ分レ其莖地ニ布テ白茶褐色ノ処アリ小枝
ノ末ハ薄ク扁クノ廻縁短毛アリ本莖ノ周辺ニモ短毛アリ
○石茸　ハナゴケ　北越諸山ニアリ高サ二寸余白山ニ生者一
寸許細枝多青白色
石芯　和名ハナゴケ
此苔越列魚沼郡田沢村ノ内桔梗原ノ陽地ニ生ス
苗高六七分斗リ細枝ヲ叢生ス冬雪ヲ凌テ其色
白緑色堅キ事針ノ如シ苔ノ一種也方言不知





国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9
ガラス使用

石蒜 植物名ノ実図考 ニ出ノ 四

本綱白モ方紅一種ヨリ蓋シ多ク園ニ植ル之ヲ摸ス山ニモ亦アリ葉ハ冬ノ末ニ生ジ夏ノ初ニ枯ル其ノ花ノ後ニ莖ヲ抽ンデ傘ノ如ク四五花ヲ攢リ開ク

艾納香 ゴケノ休ニ非ズ

黄ノ秋ニ先ハ

一種紅キヨリ

趣色ヲ異ニス

又白山ニホルケ

○震ノバリ 白山方言

白山ノ別山菊理姫命

社ノ後ニ多ク生ス土人曰此レ硫黄ノ氣也ト云用テ痲病

ヲ治ス味苦シ長サ一二寸太サ燈心ノ如シ大小アリ形狀

鹿角菜ニ似テ外青白色内空梢ニ二岐ヲナスモノアリ變

書ニ載ル エイランモ亦非ガルベシ

白山別山

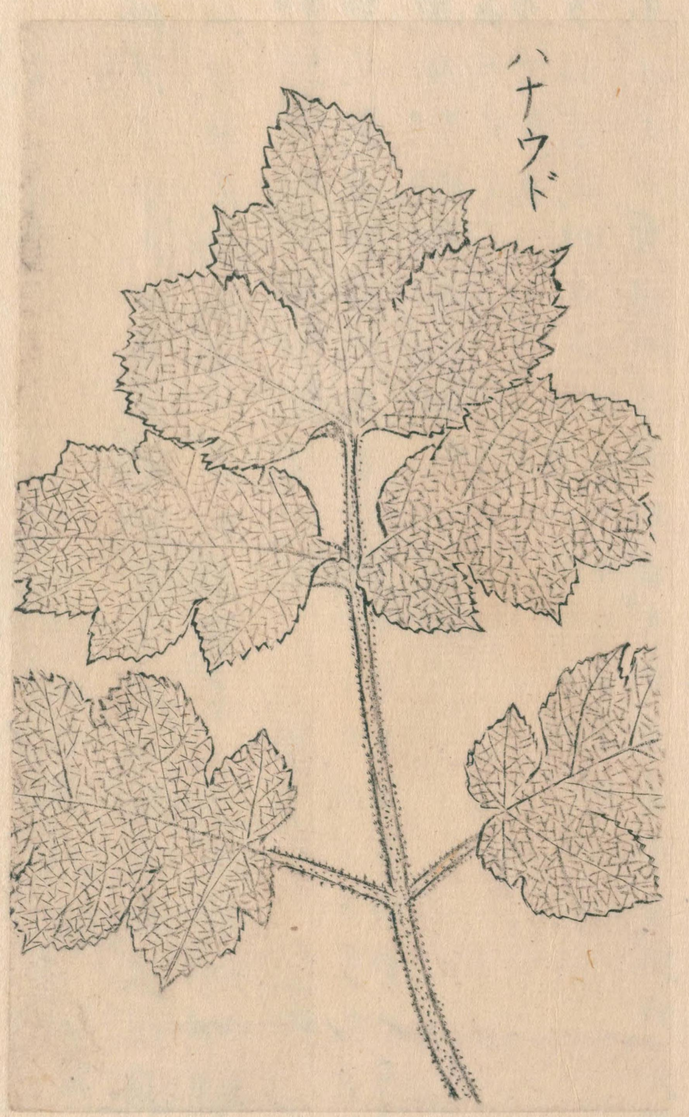
震ノバリ

Ladies tresses

エイランモ亦非ガルベシ

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9

ガラス使用



ハナウド

十四ノ二五七

氷コケ　白山ノ方言

石花ヲ（元ハ半印ヲ以テ下ノ方ヲ消シ）

コスカリヲヘテ

（元ハ半印ヲ以テ下ノ方ヲ消シ）

シラヤカニアリ左ヲ弄フニ又スベスベシテ

白山ノ名ノ

ル

ダンゴウニヘテリ

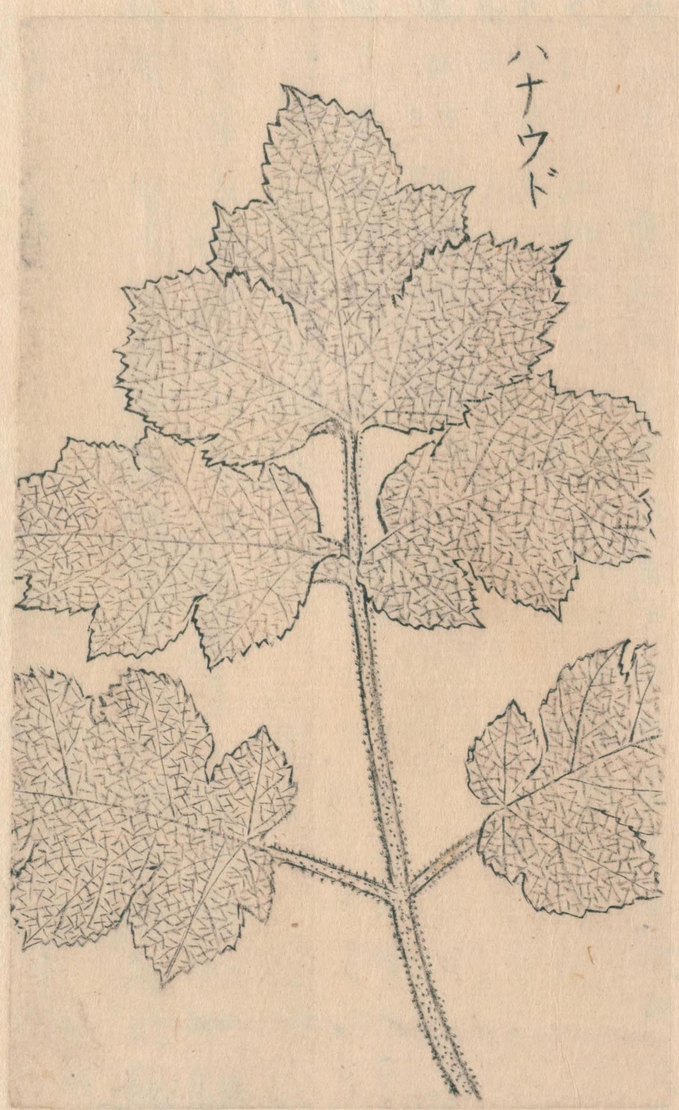
ダンゴウニヘニテリ

名ノツヤカニヘニテ

ニテ

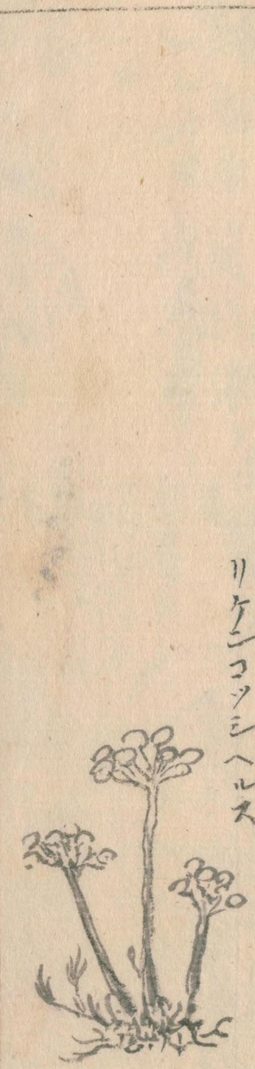
国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9

ガラス使用



ハナウド

十四ノ二五七
十四ノ二七六



国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9
ガラス使用

土卷詰 卷詰一種
イソイモ

生二海邊一冬生二苗葉一極似二前種一但有二光澤一而全面有二縱理一微帶二此菜色一
高四尺許夏著二細白花一（實向低中次第三義詰
土卷詰 契卿藩 夏
蔚石家辰

葉二十四號一同甲辰陸奥口低中
十四号為二卷詰一

卷詰宣搜二凡一発一表勝一濕入二足太陽経一縦志按詰家苔蘚為二卷詰一則此
種為二卷詰一類無レ疑然莫レ宝レ選レ為レ實改二選字一云

實開本草外篇 卷一

此草根有二香気一葉無二香気一茲附二根與一葉再乞二示教一契卿再問家宣
但白芷根有レ香葉未レ必有レ香細検二其気味一似二本草一無レ致二滋疑一甲辰宋
大明 再查 觀林

實開本草外篇 卷二

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9
ガラス使用

野白芷 ハナウト 一種

生田野濕地苗高三四尺三四月開花五六月結實

按白芷葉可合香芬芬與蘭同德政有芳香澤芬之名其味苦辛甘 閩中土名亦叫作野白芷不堪入藥非真白芷也

（甲辰潘負蔚石家傳）

根苗寔土產白芷其氣味再有芳芬香與地道相合無疑（辛丑宋宣藏林大明）

此草根有香氣葉無香氣茲附三根與葉再乞示教（癸卯再訂閔宋宣觀林大明）

但白芷根有香葉未必有香細檢其氣味似亦未必無致滋疑（甲辰宋宣藏林大明再查）

本草外篇 卷二

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9

ガラス使用

白肉黒皮氣赤苓香如白芷氣用亮獨活解散亦用之

二月宿根ヨリ生ス初メハ前胡ニ似テ毛多シ三葉以上ハ葉大ナリ葉ノ形ハ前胡葉ニ似テ巾ヒロク尖亜ケ而淡緑色ニシテ光澤ナク毛茸アリ背色ウスシ梗長サ一尺頭ニ二葉ヲ二等相對シ頭ニ亜ニ尖ノ葉アリ長サ一尺巾八寸淡緑色三月中間莖ヲ抽ス高三四尺圓莖ニシテメクリニ

土當歸

一名　水白芷　草阿魏　佳喜

和名　ハナウト　ドウごやうこヒヤグシ

シンサウ　トゼン　シロバウト

本草綱目巻之十三時珍曰江淮山中出一種土當歸長近尺許

同ジクシテ沙ヲ去ルヤ未ダ

根生乾ス白色臭多シ

土當歸ナリト云強ヤリテ

ハ多ク未詳ス當ニ

ト云ヒ白芷ニ

ス

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9

ガラス使用

白肉黒度氣赤苓香如白芷氣用充獨活解散亦或用之

二月宿根ヨリ生ス初メハ前胡ニ似テ毛多ク三葉以上ハ葉大ナリ葉ノ形ハ前胡葉ニ似テ巾ヒロク尖亜ケ画淡緑色ニシテ光澤ナク毛葉アリ背色ウスシ梗長サ一尺頭ニ二葉互ニ等相對シ頭ニ亜ニ支ノ葉アリ長サ一尺巾ハ寸淡緑色三月中間莖ヲ抽ス高三四尺圓莖ニシテメクリニ二三葉ヲ互生シ梗ニナ抱莖四月苞ヲ生シ苞開テ枝ヲ分チ冬蕾ヲ含ム蕾活葉ノ花ニ似タリ一花ノ形状頭ニ細長一ツアリ一左右ノ下ニ蕊尾様ノ瓣二ツアリ三瓣葉ヲテ一花ヲナス心黄緑色鬚二ツ黄点アリ蕊ハ白クシテ短カシ花ノ口クリ三合多ク集リ開イテ傘ノ形ニ似タリ花ノ後子ヲ生ス初緑ニシテ後茶黒色地ニ在テ自生ス花實アリトイヘドモ根カレス六月莖葉共枯ル

本草綱目巻之十三 [illegible]

[illegible]

[illegible]

十四ノ二九

ハナウド ニホンミツバ 岳山毛峨 嵯峨

ヤブウド 野白芷 鷲河 羌活 一枝花 白芷

クロヅウド

葉シコウトヨリ大ニシテ葉ノ面ニ沙ヲ布ケルコウトヨリ沙ヲ去ルヤ未ダ枯ザル前ニ根ヲ掘リ去ルヤ枯ル後ニ掘ルヤ根ノ生ズルヤ否ヤ未ダ詳ニセズ

土当帰ニ似テ白色臭気多シ

根生乾ケバ白色ニシテ臭気多シ

ハナウドニ似テ葉ノ面ニ沙ヲ布ケルコウトヨリ沙ヲ去ルヤ未ダ詳ニセズ

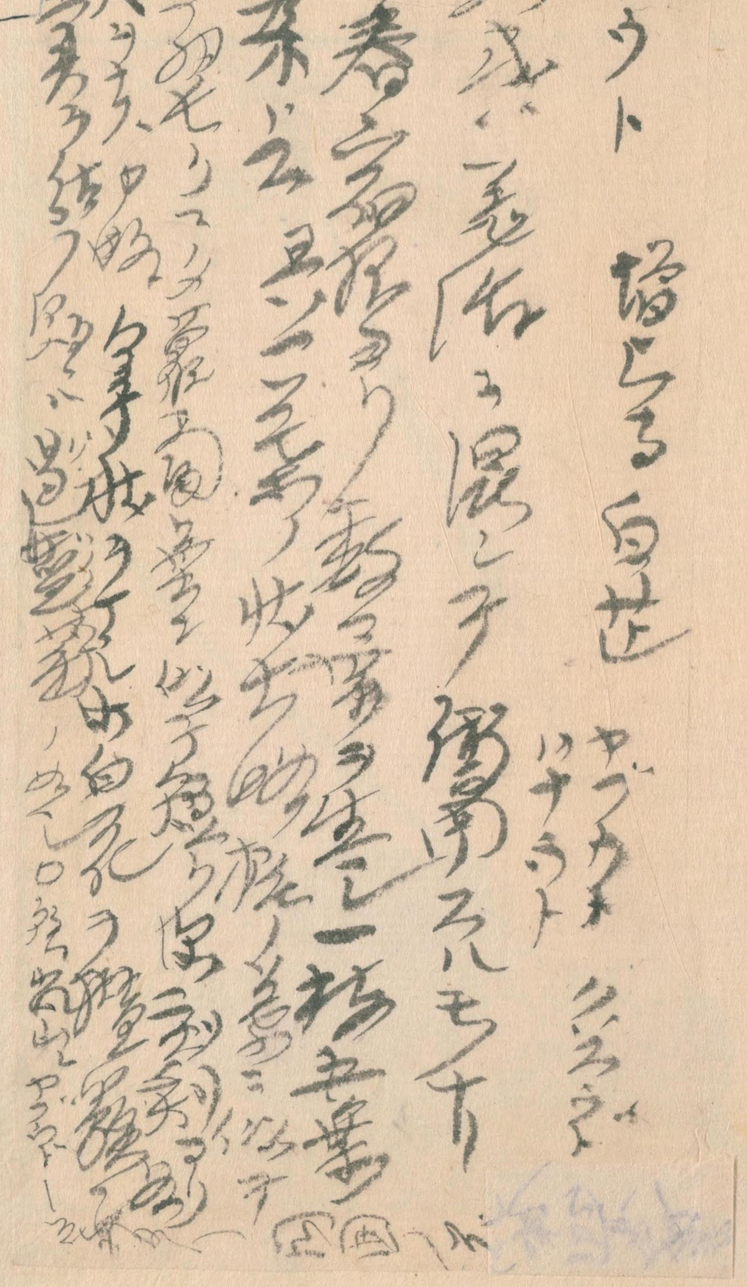
十四ノ二九

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9

ガラス使用

四一ハナウド

サガウト　畑ニ生ズル白芷



十四ノ三〇

サガウト　猶ほる白花

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9

ガラス使用

ハナウド

永世保存
錦窠物産庫
禁出門外

外花葉之六年

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9

ガラス使用

国立国会図書館　　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9

ガラス使用

其二

土當歸

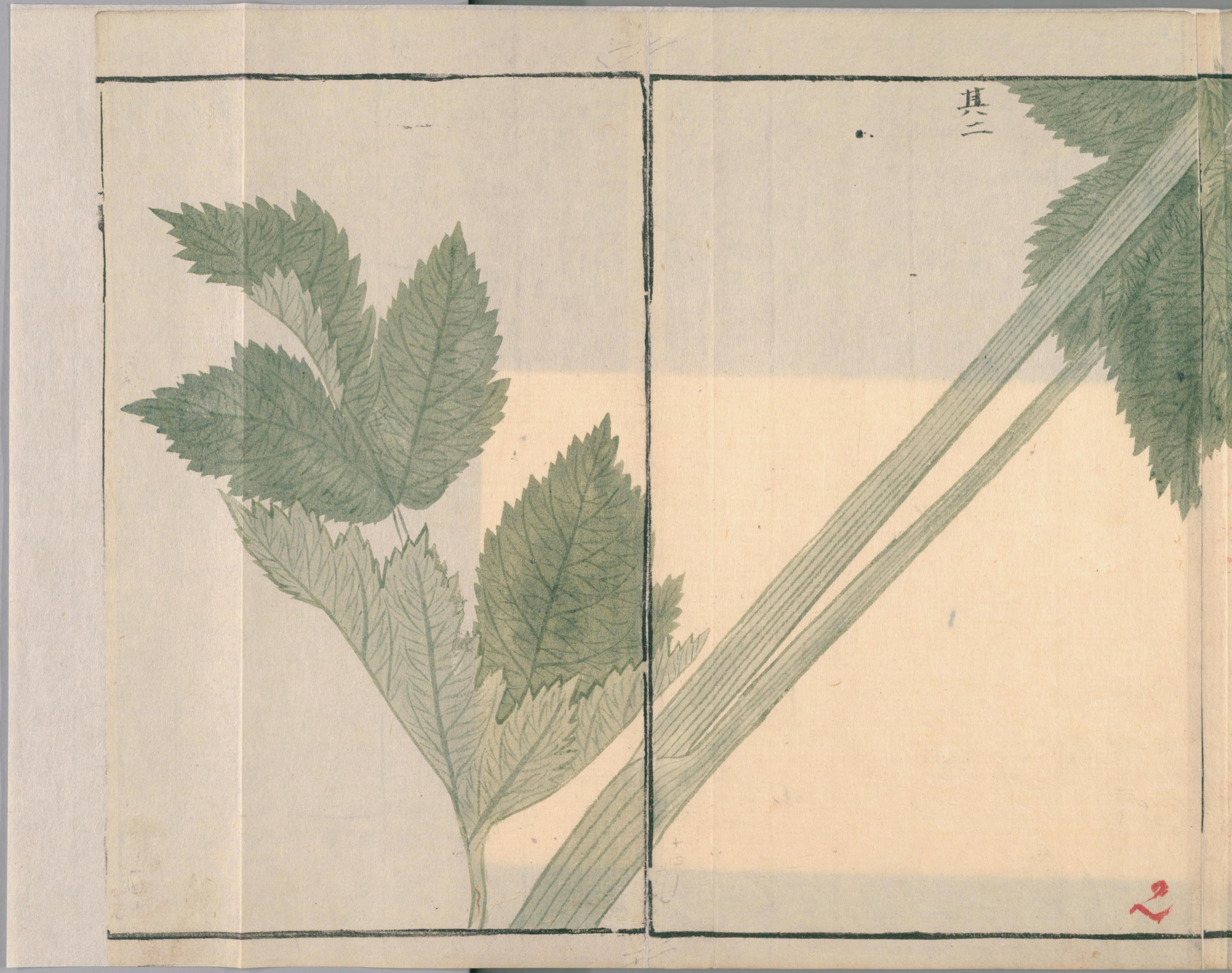
ハナウド

山芹菜

1

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9

ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』 請求記号 本別6-9

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9

ガラス使用

其四

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9

ガラス使用

犬當歸

内原花瀬谷ニ多シ莖鬼山ニモ生ス葉當歸葉ニ似テ小ク薄シ葉附タル莖紅紫色ヲ帶ル香ニ氣ハ薬ノ如シ

和州吉野郡中物産志上

濱ウド　一名鬼ウド

海邊ニ多シ八丈草ニ似テ大ニシテ高サ三四尺ニ至ル莖緊條アリ斷ハ黃汁出兼面光澤アリ夏葵ヲ抽ンテ七尺梢ニ花ヲ開ク八丈草ニ似タリ

熊野物産初志　一

紀州加田ヨリ多賀ハエユリ道中ニ一種ノ草アリ海濱ニアリウド及前胡ニ似テ甚大ニ有臭氣其條アリ莖班紋ノゴトク紫疑ハ犬芹カ

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9

ガラス使用

其五

5

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』 請求記号 本別6-9

ガラス使用

ハナウド　ヤブウド　イヌゼリ

ヤブウド

アラシヤマヤキヤウカツ

深山ニ生ジ高サ二三尺葉ハ羽状ニ裂ケテ

莖ヲ抱ク四月ノ末ヨリ五月ノ初メ大サ二寸餘ノ

中ノ花ハ小

ハナウド　名草郡落合瀧畑山中ニ多シ井関

嶺ニモ産ス

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9

ガラス使用

十四ノ三十

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』 請求記号 本別6-9
ガラス使用

ハナウド

一名 ノウズウド　嵐山美濃
メウド　ヤブウド

葉ハシシウトヨリ大ニノ蘿蔔葉ニ似テ毛茸アリ花ハ美濃ニ如クニノ五弁ニメニ三弁大ニ兼小ニ実ハ前胡ニ似テ扁心旧根ヨリ生ス

伊吹山ニ多生ス

和訓鈔云ハナウド　漢名未詳　京嵐山ニ産ス高七八尺春月開花アリウドノ類ニメノ花美ニ根生干メ気味薄ニ某名嵐山美濃ニ多シ真物ニ非ズ

品字社叢書

ハナウド ニ肖タル似タリ

ハナウド 日 Aegopodium

エツチンスハウ ヒ 印畫

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9
ガラス使用

(36)

"白花 同 ハナウド

Heracleum

エッチンクスハウセンス

伊予国

ハナウドニ似タリ

"肥後

ハナウド 高山ニ多シ 葉大ニシテモノセル冬ハ

宮云葉脈直ニ分別リハナウドノ葉ヨリ大ナリ

如此小ナル葉ヨリ八十九ニ至ル

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9

ガラス使用

カナウドカモ乎

寿西才亭名政 巻

(36)

高山ノハナウド 一品ナリヤ

高山ノハナウド 葉大ニシテモノセル冬ニ

茎云葉脈迫ニ分別リハナウド

如此ノ葉ヨリナレハ

ハナウド

高山ノモノ茎ツ

Ligusticum

エゾツキンクサハウセンニ

伊予ニ多用

ハナウドニ似タリ

"四 白芷 (ビャクシ)

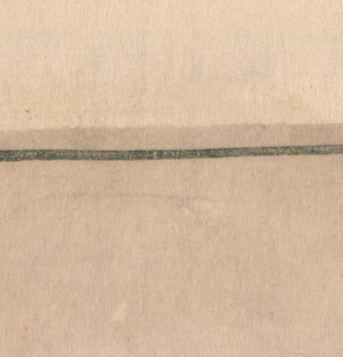
ハナウド

"江 阿

ハヤスサ明書

Amorphophallus Rivieri Durieu
Synonyms: Amorphophallus Konjac K. Koch
Amorphophallus Rivieri Durieu var. Konjac Engler

ハナヤスリ　テンテコバナ



国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9

ガラス使用

石胡荽 圖 巻ノ八丁 トキンサウ 幼

バ石胡荽 圖 巻ノ八丁

鵝不食草 トキンサウ ヤヒリグサ 形状石竹ニ似差モ小

相似ニシテ葉ニ互生ス又緑色ニシテ

揉テ嗅ヘハ悪臭アリ本草石胡荽一名鵝不食草ト

ゼニグサノイトこしき小ハナヒルくさ

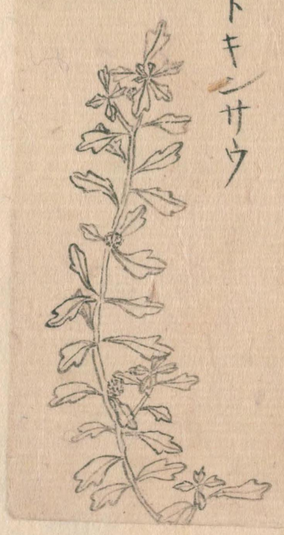
（簑）

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』 請求記号 本別6-9

ガラス使用

波奈比里久佐

生人家庭前細莖五寸許莖葉俱淡黒色而多分
小枝葉長七分許有鋸歯莖淺秋月葉間攅生小
白花結円小子大如野黍



トキンサウ

ハナヒリノサ　ヒルノサ

石胡荽　鷲不食草

ハナヒリクサノ苗ニ似テ小ナリ全草ニ辛味アリ臭気ノ強キトキハ目ニ入レハ涙ヲ流シ口ニ含ムトキハ舌ヲ刺シ痛ムヲ以テ鷲モ食ハサルナリ

石胡荽

和訓栞巻之二十

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9

ガラス使用

十四の四三

トキンサウ　バナヒリ弁

アルテミシア・ミニマ　翠

田畝路傍ノ人家ノ近隣ニモ生毒
夢生地ニハヘテ苗ノ如シ高ニ尺
ニ餘ニつキ手向小ニ毬ノ如キ
ノ穂ヲ出ス　緑色

水楊梅　もふひりかき

又きんこうもふ庭際ニ多シ小草ニシテ地ニ布菊ノ葉ニ似テ甚ク小ク二三分葉ノ間小毬ヲ生ジ形楊梅ニ似テ小ク白色ニシテ赤カラス味辛シ微香アリ乾シテ鼻ニ吸ハ噎出ヅ

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9

ガラス使用

ハナヒリノキ ヨキノサウ
羅甸 アルテミシヤ ミニマ

十四ノ四四

曲園

十四ノ四四

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9

ガラス使用

トキンサウ

十四ノ四五

ハナヒリノ廿六

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9

ガラス使用

トキンサウ

ハナヒリグサ

全体右ヨリ出ル葉ハ仙人ノ掌ノ如ク分レ左ヨリ出ル葉ハ仙人ノ掌ニ似テ小ク分レ又ハ分レズ共ニ縁ニ粗キ鋸歯アリ又ハ深ク切レ込ミアリ或ハ全縁ノモノアリ葉ノ表裏ニ毛アリ葉ノ長サ二寸許ヨリ六寸許ニ至ル葉ノ裏面ハ白ク細毛アリ秋ニ至テ葉ノ表ノ毛漸ク消ル葉ノ表ハ深緑色ニシテ光沢アリ葉ノ裏面ハ淡緑色ニシテ光沢ナシ葉ノ縁ニ粗キ鋸歯アリ又

○石胡荽　東陵三
叢生ス花ハ
皆ノ異乳ニ
本草綱目ニ

金雀児撥

喬説

トキンサウ

ハナヒリグサ

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9

ガラス使用

polemonium caeruleum

ハナシノブ

トキンサウ

ハナヒリグサ

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9

ガラス使用

金崖児撫

釋名　　檢花根

葵根如蔓蓄皮黄白心實

螫蟄宿根ヨリ苗ヲ叢生ス圓莖淡緑色ニシテ毛葺ト

一梗十八葉ヲ両ニ相對シ頭葉アリ小葉椹葉ニ似メレトモ細ク尖リアリ淡緑

色ニシテ皆白縁ヒ月莖高サ二尺余二三十葉メクリヨリ互生シ梢頭穂ヲ

出シ小枝ヲ分チ小蕾ヲ結ビ五瓣ノ淡紫花ヲ開ク花口三合梗花ノ形似

テ最小ニシテ窄ニ開ク鬚蕊水紫色粉越紫心蕊ハ白ク少シ長シ蔓ヲ出附ニ合

六月謝シテ實ヲ結フ旋頭花ノ實ニ似テ穀中小黒子アリ苗時テ生シ易シ

二手ニシテ花アリ九月枯ル根地膚根ニ似堅シ○此種古人亮白鮮故ニ爰

載ス未穏

一種白花

和名　ハルダツツカウ

春宿根ヨリ苗ヲ叢生ス高サ一尺五六寸圓莖ニシテ多クニスジ多シ色淡緑

色葉ハ椹葉ニ似テ葉莖細ク小葉十六葉ヲ互生シ頭葉アリ小葉長サ分

幅二分面淡緑色ニ黄色ヲ帯フ皆白縁色全葉長サ五寸莖ノメクリヨリ

互生スルコト二十五六葉五月一瓣五出枯梗咲ノ小正白花ヲ開ク花ノ径リ

五分鬚蕊五ツ白フシテ粉越正黄心蕊ハ白長サ三分花落テ實ヲ結フ

殻圓シテ大豆ノ小ナル者ノ形ノ如シ緑色五出熟スレハ茶褐色中ニ細子多シ

蒔テ善生ス冬ニヲ経テ花ヲ開ク

金雀児撤

穂名　　検花根

和名　　ハナシノブ　タサシノブ

秋傳花鏡巻之五曰茎青葉稍白似茱萸夏月開花淡紫色頗小蜀

出シ小枝ヲ分千小蕾ヲ結ビ五瓣ノ淡紫花ヲ開ク花口三合梗花ノ形似テ最小ニシテ富ニ開ク鬚蕊水紫色粉越紫心蕊ハ白ク少シ長シ莟ヨリ出ル時ハ三分六月謝シテ實ヲ結フ旋頭花（サノウサウ）ノ實ニ似テ穀中小黒子アリ蒔テ生シ易シ

二年ニシテ花アリ九月枯ル根地膚根（ゑんきと）ニ似堅シ○此種古人亮白鮮故ニ爰載ス未穏

一種白花

和名　ハルシツカウ

春宿根ヨリ苗ヲ叢生ス高サ一尺五六寸圓茎ニシテ多クハニスジ多シ色淡緑色葉ハ枇杷葉ニ似テ葉莖細ク小葉十六葉ヲ互生シ頭葉アリ小葉長サ分幅二分面淡緑色ニ黄色ヲ帯フ皆白緑色全葉長サ五寸莖ノメクリヨリ互生スルコト二十五六葉五月一瓣五出枯梗咲ノ小正白花ヲ開ク花ノ径リ五分鬚蕊五ツ白フシテ粉毬正黄心蕊ハ白長サ三分花落テ實ヲ結フ殻圓シテ大豆ノ小ナル者ノ形ノ如シ緑色五出熟スレハ茶褐色中ニ細子多シ蒔テ善生ス冬ニヲ経テ花ヲ開ク

草花譜

廿四

ハナシノブ

クサシノブ　ハナシノブ

ハナシノブ　クサシノブ

豊後波ノ原産
苗高サ三尺許芝種前後
啓蟄前出芽葉ハ虎掌ニ似テ五并三四ノ花ヲ開ク
淡紫色又白花モアリ

一種大葉ノアリ花モ大シ

ハナワッカウ

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9

ガラス使用

十四の五〇

一種白花

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』 請求記号 本別6-9

ガラス使用

polemonium caeruleum

ハナシノブ

一種白花

草花譜

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9

ガラス使用

槐葉紫參 実四 ハナシノブ

此種武州ニ往々之ヲ養フ春苗ヲ発シ後茎直上スルヿ三尺ニ葉多ク槐葉ニ似テ圓橢ニ尖峭ナリ淺緑色四五月茎梢ニ花ヲ開ク淡紫碧色大サ三四分ニメ五出形チ苦梗（キヤウ）花ニ類シテ小サク攅簇シテ穂ヲ成ス花謝シテ房ヲ結ス女青實ニ似テ圓ク内ニ細子アリ宿根ス古ヨリ白鮮釈名ノ金雀ト云微シク穂ヤカナラズ凡金銀ハ物ノ貴重スル上品美麗ヲ称スレノ名アリ細カニ之ヲ別ケテハ多クハ色ヲ以テ義称ノ名ト定ム通例ナリ則黄金白銀ヨリ創スルトコロナリ此草紫花白花ノミホタ黄花ヲ見ズ若シ黄花ノ者アラハ相庶カラニカ同シクハ黄花槐葉ノ草ニ此名ヲ鉛スベカラン予定論ニ拠スルニ金梅則コノ金雀児槐ニ元當ナルヘシ花黄金色梅ノ如ク葉迎春ニ似テ又槐葉ノ如ク小サリ五葉ナリ茎ニ毛アルテ又迎春ニ似テ自ラ

多紀園文庫

花悪シノブ

花名集

花ニノブ 春苗ヲ生ス方ニ三尺葉ハ山椒ニ差ヘ夫ヨリ大ニ四五月茎ノ梢ニ淡碧白ノ鮮花ヲ又白花ヲ開キ形梔梗ニ似テ小ク十ニ似タリ古弦ニ白ノ鮮ニ云ヘル非ナリ

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9　　ガラス使用

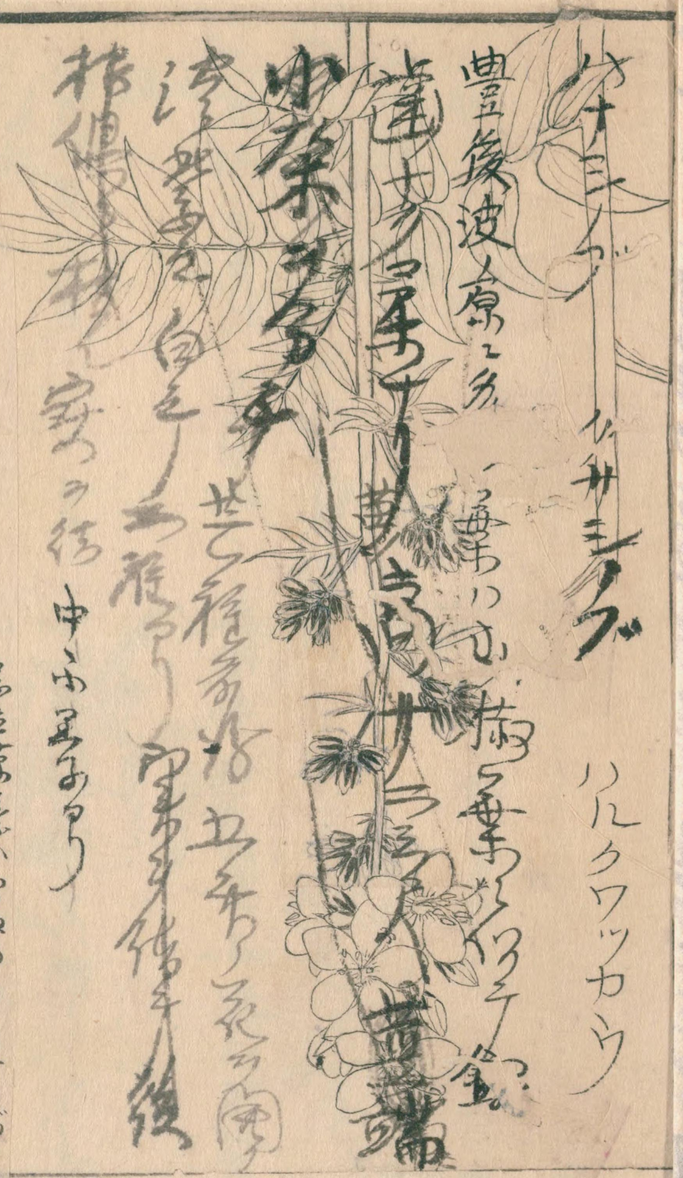
槐葉紫參 実四 ハナシブ

此種武州ニ往々之ヲ養フ春苗ヲ発シ稜茎直上スルヿ二三尺ニ葉多ク槐葉ニ似テ圓橢ニ尖峭ナリ浅緑色四五月茎梢ニ花ヲ開ク淡紫碧色大サ三四分ニメ五出形チ苦梗（キヤウ）花ニ類シテ小サク攅簇シテ穂ヲ成ス花謝シテ房ヲ結ス其青實ニ似テ圓ク内ニ細子アリ宿根ス古ヘヨリ白鮮釈名ノ金雀ト云微シク穂ヤカナラズ凡金銀ハ物ノ貴重スル上品美麗ヲ称スルノ名アリ細カニ之ヲ別ケテハ多クハ色以テ義称ノ名ト定ム通例ナリ則黄金白銀ヨリ創スルトコロナリ此草紫花白花ノニホヒタ黄花ヲ見ズ若シ黄花ノ者アラハ相庶カラニカ同シクハ黄花槐葉ノ草ニ此名ヲ銘スベカラン乎定論ニ拠スルニ金梅則コノ金雀児槐ニ元當ナルヘシ花黄金色梅ノ如ク葉迎春ニ似テ又槐葉ノ如ク小サリ五葉ナリ茎ニ毛アルテ又迎春ニ似テ自ラ

花悉（シツ）

花名集

ハルクワツカウ



国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9
ガラス使用

十五の五オ

一品ナリ越中立山チゴノマイモ亦此種ノ白花ノモノ也サテ此梶葉茎葉冬ニハナシブラ元ツル宋蘇頌云苗長一二尺茎青而細具棄青似梶葉トイヒテ其跡ニ五月開花白色似葱花ニモ花忍ハ大一二尺トナリ茎青ク細シ葉ハ梶ニ甚似タリ五月開花ス

ルニ五辨白色葱花ニ能似タリ又淡紫色ノモノアリ武江淡紫ノ者

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9
ガラス使用

一品ナリ越中立山チゴノマイモ亦此種ノ白花ノモノモサテ此梶
葉紫冬ニハナシブラ充ル宋蘞頌云苗長一二尺莖青而
細其葉青似梶葉トイヒテ其跡ニ五月開花白色似葱花ニ
花忍ハ丈一二尺トナリ莖青ク細シ葉ハ梶ニ甚似タリ五月開花ス
ルニ五辨白色葱花ニ能似タリ又淡紫色ノモノアリ武江淡紫ノ者
ヲ以テ尋(ツネ)トス故ニ花シブヲ以テ頌説ノ梶葉紫參トス

六 同小失白花

此種マタ近歳コレアリ形状全クカハラズ青莖白花ナルノミ葉自ラ
小ブリヲ失ホナルニ頌云白花似葱花トハ云ニ高(タカ)シ

○花シノブ 莖二尺許葉山椒ノ葉ノ形ニ似テ葉弱ニ互生ス又大葉
菜ノ葉ニモ似タリ五月末五瓣ノ紫花莖頭ニ連生ス可愛又白花
有旧説ノ白鮮也 朝全写

十

十四の五才

白鮮　クサノブ　春クワツコウ　花シノブ

種家　カンズイ　ヒツジグサ　古名　比乃種

家ニ澤山ナリ、東師ニハ自然生ナシ、丹波及大和芳野山中ニハ自然生アルナリ、宿根ヨリ苗ヲバ生ズルナリ、苗ニ三尺ノビル、葉ハ大山椒ニ似サイカチノ如シ、豆生多シ、四五月比ニ軸ノ末ニ五寸バカリ、穂ノナシテ花ヲ生ガル也桔梗色ニメ五瓣ナリ、形モ桔梗ノ如シ、大サ三四分バカリ、又白花モアリ、花ノアトニ實ムスブ也、花ヨリ南天燭ヨリハヤク熟スル黒クナルナリ、茎葉用ハ根皮ナリ、漢渡ノ右モ上品ナリ、茎葉デハナヨワヒヨロヒヨロヒトキ或ハムクゲノ

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9
ガラス使用

ハナシノブ

軟

北海道産

明治十三年
小林職敬採

バナシノブ　一種

坤　北海道産

明治十三年
中野儀一郎採

第十二号

伊藤篤太郎
余ノ十能書ノ如

十 Spiranthes Valotiana ト、推定

カラフト嶌西ノ方ノタシャムニアリ

和名ハナエビ

松前産木志

十四ノ九

海道採之 雪山麓

花形

漢名不詳岡先生白鮮トス恐クハ非ナラン葉ハ蜀椒ニ似テ尖リ淡緑色色苗ノ高キコト二尺詳莖次花ヲ開テ桔梗ニ似テ小ク数花ヲ着ク穂ノ如シ四月放ク淡碧色ト白色トノ二種アリ形状相似タルニ非レドモ猶忍草ノ態アリ小枝ヲ挿キハ活易シ根ハ細根ニメ漢ノ白鮮トハ絶テ別物ノ

皮或ハ木芙蓉根皮ヲ以テ通用スト云也根ハ白メ気鮮腥ナリ松岡恕庵先生ノ説ニ花レノブニ充レドモ花小雑艸ハ根腥カラズ花レノブ秋紫花ヲ開ク也又曰ナギサウガ白鮮ニ近シトナリ

白瓣皮 誤音

村家方

一名 檢花根

陸奥産物類苑

富士谷御杖著　北堂

蓮如上人の御作業

蓮如上人の御作業とそ等の程の
御事物よせく業のさまさまなるものゝ
せうそくなどをあつめ一部となしたるもの
うゐねつよてさる事もしおまつるもの
この上人の古住すみこと俗よう称する
ものあるをもて近き代の
事蹟なれ共茲に

富士谷御杖著

植学啓蒙 巻之陸 草部編二

北越 師中 冲

此蓮如上人の葦茅出生の地名不記
角鹿氣比神社、越前国敦賀郡

らみつゝ葦もあやをりかの名葦茅第二これ
あるをし祢葦も祢をしれかりくゝも徒歩
ゐこゝろもあるをしいとあをし
石菅如の浦ろと今ゝ園に本草綱目
穀部より師草ありて西土ゝもあるをし
ゝゝそゝ葦草まゝ弘法むきそもをそ
越の越中ないと名くゝ又名門出をゝもあり

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9

ガラス使用

富士谷御杖著

十二

ハマウツボ

ハマウツボ

伊藤圖南東都名家吐綬鶏圖幅

十四ノ五八

(エ)一九 エウレイサウノ条
(オ)ノ七二 オニヤガラノ条

ヨ参考ニス

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9

ガラス使用

Orobanche maior.

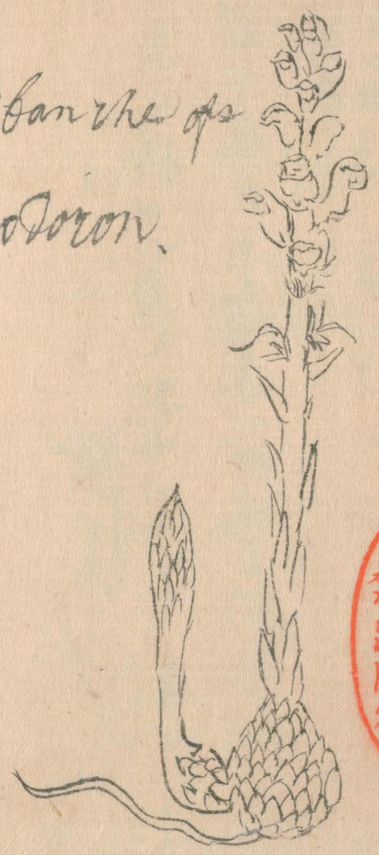
オロバンセ

ハマウツボ　別書

甲斐国高木命指示、家蔵、幾尾忽布氏印葉
本草ノ663番

Orobanche ops
Limodoron.

別書ナシ



永世保存
錦窠物産庫
禁出門外

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9

ガラス使用

草薤蓉　ハマウツボ　和歌山浦砂地名草郡田井ノ瀬

河傍砂地四五月頃ニ生ス一根七八莖アリ莖根ヨリ
ニ鱗甲アリ高サ尺許梢ニ深州夏枯草ノ如キ淡紫
花ノ開

○列書　和名ハマウツボ　品類頗多シ

○越後新潟海邊沙地ニ生ズルモノ信称ノ如キ
又常州鹿島ノ淺海邊汐地ニアリ

親雲上ノ字ヲ翌後方言ニテ
ニヤケ云且翌後ヲ親雲
トセシヨリ因テ名ノ又
住ノ意ニ座ヲ日ニ採リ新セル真ノ
ハイカヌ又此根大サ寸許ニ五六ヲ
中洋ヲ為黒松マリテ地中ニ相連リ
ノ藥家津守方ニ之ヲ採リ
ニ越後新潟海邊ニ
ヲ藥用ニ供ス
ヲ採リ
ヲ非ズ

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9
ガラス使用

釋名　栗當　草蔭蓉　花蔭蓉

和名　ハマウツボ　ツチアケビ　ヲロサタチ　日光

本草綱目啓蒙巻之八云夏月湖海邊沙地ニ多生又向陽山間ニモアリ莖高サ五七寸或ハ一尺許淡紅色ソノ半以下ニ鱗甲アリ半以上ハ花繁ク綴リテ長穗ヲナス淺紫色形深州夏枯草穗ニ似タリ根ニ黄色ノ小塊アリ長サ半寸許

本草綱目巻十二保昇曰其草蔭蓉四月中旬来長五六寸至一尺以来莖圓紫色

四月初苗ヲ生ス高サ四寸圓莖ニシテ天麻ノヒレノ如キヒレ莖ヲマトツテ鱗甲ヲナス其數二十餘鱗真色茶赤色本ヒロク先尖ル五月初莖頭伸ルコト二寸余下ヨリ三寸以上鱗甲ノ間ヨリ淡紫花ヲ開ク其形干天麻花ヲ反ス夏

十四ノ六〇ウラ

列當　郡知安訂比

摂州尼寺邨產

列當　ハマウツボ　コレハ海ヘンノ砂地ニ生スルナリ又陽地ノ山ニモ生ルナリ此モハナキモノナリ五六月ヨロニ五六寸バカリニナルソヲスント半分ヨリ上ハ花ガツク又半分ヨリ下ハ根ナリ上ハホニナツテウス紫ノ花ガツクナリウツボグサニ似テアリクキハウスアカシ根ハ黄色ナリ一寸クライニレテハ、三分バカリアリ一莖又二三莖生ルナリリンコンノヤウナルモノガツクナリ一名栗列　郡芳譜

十四ノ六一ウラ

草花譜

列當

生スト云ヒ是本草内薇蕨落葉集解ニ野馬之雅名
地所生トアリ信ニ然ルベシ今俗ニ至ル端午
ノ節ニモノヲ高ク大ナル指ノ如ニ赤キ穂ヲ
ニ月生ズ件ニ及ビ宮邑廛病院山中ヨリ葉茎
ヲ乾野ニモノヲ高ク大ナル指ノ如ニ赤キ穂ヲ

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9

ガラス使用

草花譜

キムラダケ　一名ヨカサダケ日光山ニ産ス古来傳ヘ曰薇蕗
蕗谷トス彼土人ハキマラダケト呼フ日光ノ白根山ニ並モ
テ金勢(キマラ)明神ノ祠アリ之ニ副道鏡ヲ祀其
地ニ産ル故ニキマラダケト云ヘリ金初テ悟ハキムラダケト
ヨフノ誤嫌ナリヨリ土人ハ鹿ノ夢尾ヲ其精地ニ落テ
生スト云ヒ又本草肉蓯蓉ヲ鼠ノ糞ヲ鼠ノ雄ヲ野馬之精落
地所生トヨリ混リ伝ヘシナラン金偽ヲ至ニ端午

十四の二

十二月

三月其生ル件ニ及ヘハ又宮邑慶病院山中ヨリ蕈若
干乾野ニモノヲ示ス高サ大サ指ノ如シ赤ク稜

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9
ガラス使用

列當　ハマウツボ

諸列海濱及湖邊ノ沙地ニ産ス閏陽山沙地ニモ生ス三四月數莖ヲ生ス高サ六七寸形狀赤箭ニ類ス葉ナク節有テ袴葉ノ如キ者アリ五月花ヲ開ク花穗滌列其色淡紫深紫ノ品アリ花後小實ヲ結フ秋莖葉腐枯ス根鬚ナク次年不生クサヒラノ類ナリ

列當
俗名紫花地丁

乾州府書縣志　四

十四の二三

ナシ大麻ノ穗ノ如シ中空ニシテ實足根ニ寸餘ノ魚アリ　繁陰ノ地ニ產ス莖小ニシテ筆管ノ如シ淡紫色後萎ノ一殘リ毛松ノ鬚ノ如シ根白ノ指ノ太サ雞甲ノ異リ松鉢ノ市間者ニ似リ根長リ五六寸四方ニ分布ス脆シテ折易シ且赤

さし大麻ノ穂の如し中空ニシテ実ハ根ニ寸餘ノ勉アリ　繁陸ノ山北面ニ産スル茎小ニシテ筆管ノ如シ淡紫色後萎ノコレ殘リ尾松ノ穂ノ如シ根白ク指ノ太サ雞甲ニ異リ松毬ノ赤キ間ニ白ク長サ五六寸四方ニ分布スル脇ニシテ折易シ且柔ラカニシテ黒シ　和州多武峯ニモ此色黒シ　根ハ乾ケハ以テ二品舶来ノ肉蓯蓉ニ異ナルモノ亦是ニ同シ　菅ノ雞甲アリテ中実ニ肥大ナルモノト大ニ同カラス或云ヒ其菅ノ扁ニ高ク土山ニモ亦アリ赤楊根ニ生ス土人ニリンヒ云フ（筆）

列當　俗名紫花地丁　ハマウツボ　兗州府曹縣志　四

十四の三三

八十二

列當

諸州海濱及湖邊ノ沙地ニ産ス間陽山沙地ニモ生ス三四月数莖ヲ生ス高サ六七寸形状赤箭ニ類ス葉ナク節有テ袴葉ノ如キ者アリ　五月花ヲ開ク花穂深紅色淡紫深紫ノ品アリ花後小実ヲ結フ秋莖葉腐枯ス根鬚ナク次年不生クサヒラノ類ナリ

○キムラダケ　日光
ニクジュ日光

カサダケ〃
ニクヒラ　種

ヒカサダケ〃
ヤマデラホウキ

十面の高

列當一種
日光冨士　和州土一種ノホニ産ス
高五六寸或尺許莖ニ鱗甲ヲ有リ五月比鱗甲ノ間ニ花ヲ開ク莖赤色ニメ形天ノ花ニ似タリ根ナシ乾ハ至テ堅シ莖中空ナリコレヲ肉ト稱シ食スルモノハ非ヤ冨士山ニ産スモノハ色稍赤ヤ

〇列當ニ相模方言花羽壺莖圓而白色莖頭有花形
類ニ地黄花其色淡紅蓋菌花之屬也今舶渡乾晴
者罕有多偽品耳
列當
本草綱目云暮春抽苗四月中旬采取長五寸至一尺以
来莖圓白色采取壓扁日乾
此草越列頭頭郡海邊ノ芝地ニ生ス苗高五六寸莖白ク
末ニ花アリ長ク穗ニナルウホ草ヨリ花大ニシテ形似タリ
葉ハ一向ナシ根ハ黄色ノ塊ガリ

ハマウボ　越後海邊
〃十二

十四ノ六五

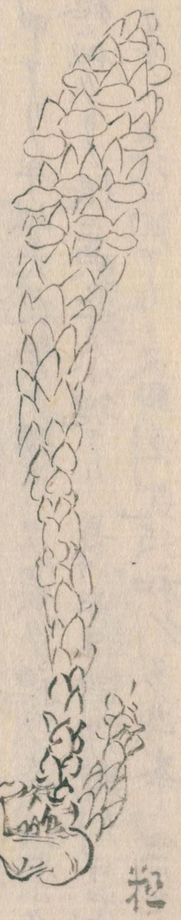
十四ノ六四

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』 請求記号 本別6-9

ガラス使用

キムラノタケ　長一尺余短モノハ六七寸鱗田アリ
黄紫花ヲ開ク形天麻ノ如シ
富士山方ニ才ニノサヽトゝト云不老不死草ト云



尾張伊藤圭介之記

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9

ガラス使用

ハニウツボ

ヨロバシケ　　リモドロシケシ

列當　　栗列　郤芳譲

栗當　開宝　　草蔍蓉　花蔍蓉　紫花地丁　本中原始　同名多シ

勢列ナ種ト松谷村ヲアサケ川ノ北ノ野ニアリ

夏月湖海邊沙地ニ多ク生ス又向湯山間ニモアリ莖高サ七寸或ハ一尺許淡紅色ノ半以下ハ鱗甲アリ半以上ハ花繁ク綴リテ長ク穂ヲナス淺紫色形漸々夏枯草ノ穂ニ似タリ根ニ黄色ノ小塊アリ長サ羊ス許リ野列日光山ニ生スルモノヨヨカサタケト云次ニ図アリ又野列筑波和列多武峯ニ生ルモノハ根ニ鱗甲アリ次ニ図アリ

○一種富士五六合ノ二産スルモノハニノ水ノ根ニ生ス方言肉蔍蓉或ハニクジュ

猫好テ食フ

キムラダケ　日光　カサダケ　ヨカサダケ

ニクジュ　日光　ニクジュ　富士　ヤマデラホウズ　土列

十四ノ六八

日光産

富士産

山中隰地ニ生ス

野列日光駿列富士和列土列讃列ニモ産ス高五六寸或ハ尺許莖ニ鱗甲アリ五月頃鱗甲ノ間ニ花ヲ開ク黄赤色ニテ形天麻ノ花ニ似タリ根ニ塊アリテ鬚根ナシ

乾ヘ至テ堅ク葉中空ナリコレヲ肉蕤蓉トスルモノハ非ナリ別富ノ一種ナリ
富士山ニ産スルモノハ稍小ナリ

○ヤマウツボ

列當一種
涼山傾地ニ生葉ナク莖高
サ尺許根ニ鱗甲アリテ
花蕤蓉 若州小濱并相州大磯ノ海辺ニ有ハマウツボノ一名
仙地ニ有シ

上

寸許花密ニ

Orobanche Lotor. 列当ハこうらいふ
Amoena 主海列当ノ名
Item Kaempf. 列當ニテハマウツボ
一名蒲簪

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9
ガラス使用